

Principia I 到達目標

前期の Prin I では以下のようなポイントを生徒に身に付けさせたい力としてイメージしています。
以下のポイントを踏まえて指導していただければと思います。
修正、変更があれば再度連絡いたします。

テーマ設定について

以下のようなテーマを自身の興味関心などから設定できるようになることを目標とします。

A：問いに抽象的な要素がなく、客観性や具体性がある

B：問いに客観性や具体性があるが、一部抽象的であったり、主観的であったりする。

C：問いが抽象的である

問いの設定について(上で設定したテーマとは異なるテーマを用いて主に活動します。)

以下のチェックポイントを満たせるような問いを研究テーマから設定できるようになることを目標とします。

☐言葉の定義がはっきりしているか

☐データや事例、先行研究をうまく活用できているか

☐多面的に検証できているか、条件は明確か

☐答えがすぐにみつかるようなものではないか

☐調査、実験の見通しがたっているか

A：5 個すべてを満たしている、B：3 個以上満たしている、C：2 個以下しか満たせていない

問いの検証と結果の分析について

以下のように仮説の設定方法を理解して考えることができるようになることを目標とします。

A：検証方法を踏まえて、先行研究や事例から根拠を持って複数の仮説を設定できる。

B：先行研究や事例から根拠を持って検証可能な仮説を設定できる。

C：先行研究や事例から根拠を持って仮説を設定できる。

結果の検証について

以下のチェックポイントを満たせるような結果の分析ができるようになることを目標とします。

☐結果から理論を組み立てて考察することができる

☐結果から意味を見出すことができる

☐結果から問いの答えを見出すことができている

☐結果に対する新たな問いを考えることができる